

道院だより

No.16

金剛禪総本山少林寺 埼玉北浦和道院

2009年 12月25日(金) 発行

文責 道院長 梶谷 憲皇

合掌

1年間ありがとうございました

2009年もあと一週間足らずです。2月に小坂先生が亡くなられ、この埼玉北浦和道院を引き継ぐことになり、その身に余る大任に不安だらけでしたが、道院拳士の皆さんや少林寺拳法の諸先輩方、本部の職員の方々の温かいご支援ご鞭撻をいただき、なんとか新しい年が迎えられそうです。また、そんな私を支えてくれている家族にも感謝しています。多くの方々に支えられて今の自分が在ることを本当に嬉しく思います。1年間ありがとうございました。来年もまたよろしくお願ひ致します。

鎮魂行は、感謝行・反省行・自戒行

少林寺拳法とは何か聞かれたら何と答えるでしょう。答えは「人づくりのための“行(ぎょう)”」です。この「行」には体を動かして行う、いわゆる剛法や柔法といった拳技の修練としての「易筋行(えつきんぎょう)」と、教典を唱え、静かに座禅をする「鎮魂行」があります。私は若いころ、「鎮魂行」にはあまり関心がありませんでした。鎮魂行がやりたくて少林寺拳法を始めたのではなく、「強くなりたい」という動機で始めましたので、当然、「易筋行」が主体でした。しかし、葉には表と裏があるように、物事には必ず「光と影」「陰と陽」「静と動」があり、それらが互いに「調和」して世界が在ります。少林寺拳法の「卍(まんじ)」や「ソーエン」もこのことを表しています。つまり、少林寺拳法の「行」も「易筋行」と「鎮魂行」とを調和させて行わなければ意味がないのです。「力」だけでも「愛」だけでもだめ、「力愛不二」です。

さて、この鎮魂行ですが、教典唱和の後、瞑目し静かに座禅をしますが、この時にどんなことを考えながら行うのか。禅宗の座禅は「無我の境地」に、「無心」に、「悟り」を・・・と言うようですが、少林寺拳法では、「人づくりの行」ですから、人としてどうあるべきかという観点から、鎮魂行を「感謝行」「反省行」「自戒行」として行います。

感謝行・・・自分のまわりの物事や人たちに、感謝します。たとえば、自分が生きられていること、食事が食べられること、服が着られること、自分を支えてくれている人たちがいることなど、具体的に想起しながら感謝します。

反省行・・・自分の思考や行動を振り返ります。正しい行動がとれたか、人のために何かできたか、妬(ねた)みや怨(うら)お思いをいだかなかったか、感謝の気持ちが持てたかなど反省します。

自戒行・・・自分の行動を戒めます。反省行とともに、自分がどのように考え行動していかなければならないかを自分に言い聞かせます。

1年の終わりに、また、新しい年の始まりに、座禅する必要はありませんが、こうした意味での「鎮魂行」を試してみてもどうでしょうか。

それでは皆さん、良いお年をお迎えください。

結手

連絡事項

① 新しい仲間が増えました。

1月より私の息子が入門しました。梶谷銀河 7歳です。4歳くらいの時に一度練習に参加して、その時は「僕絶対に少林寺やらない。」なんて言っておりましたが、どうした風の吹きまわしか、やる気になったようです。不束者ですがよろしくお願い致します。

② 来年の予定

1月	8日(金)	練習始め
	16日(土)	新春法会・鏡開き
	17日(日)	埼玉武専
	30日(土)	県連研修会
2月	7日(日)	埼玉武専
	11日(木)	少林寺拳法体験教室 「浦和 パルコ」にて
3月	14日(日)	埼玉武専
	28日(日)	審判講習会

法会とは「教えを説き聞かせる集い」のこと。新春法会は、門信徒らと新年を祝うとともに教典唱和や法語を行い、心新たにして、1年の第一歩を踏み出すための行事。

③ ASA 市川新聞社 ミニコミ誌「ぱびるす」取材予定

朝日新聞、市川新聞社のミニコミ誌「ぱびるす」に埼玉北浦和道院の紹介を掲載していただくことになりました。1月19日(火)に取材に来る予定です。齋藤拳士の紹介です。地域に少林寺拳法のことを紹介して、知ってもらおうと考えてくれました。齋藤さん、ありがとうございます。

常盤小学校で少林寺拳法を初めて40年近くになりますが、常盤小学校内でも、意外と知られていません。2月11日には、浦和の「パルコ」にて、浦和周辺の道院主催で、体験教室を開く予定です。こうした活動を通して、少林寺拳法をたくさんの方に知っていただき、仲間を増やしていければと思います。

④ 新春法会の参加確認票の提出をお願いします。

「道院だより・14号」でお知らせいたしました、1月16日の第一教区(さいたま市)・新春法会の参加確認票の提出をお願いします。参加人数を報告しなければいけませんので。明日の納会の時でもかまいません。もし納会に参加されない方は、メールでもかまいませんのでお知らせください。